



京田辺市議会だより 12月定例会

★京田辺市社会福祉協議会の給食サービス★
(社会福祉センター)

令和になって初めての決算認定案を審査
賛成全員3件
賛成多数6件認定

2～4面
に掲載

初日には、9月定例会で決算特別委員会に付託し、閉会中に審査が終了した9件の決算認定案について委員長から報告を受け、質疑の後、討論を行いました。討論では、日本共産党京田辺市議会議員団から「一般会計」、「国民健康保険特別会計」、「介護保険特別会計」、「後期高齢者医療特別会計」、「水道事業会計」、「公共下水道事業会計」の6件に、市民とともに歩む女性議員の会から「一般会

令和元年度決算
9件を認定

初日には市長から、任期満了に伴う人権擁護委員の推薦に関する諮問案2件が提案され、大鉢美智子(おおはちみちこ)氏(75)＝三山木七瀬川、及び和泉律子(いずみりつこ)氏(71)＝草内鐘鉦割の2名を再任すること、賛成全員で適任としました。任期は委嘱発令日から3年です。

人事案2件
賛成全員・適任

初日には、その他にも「後期高齢者医療に関する条例の一部改正や、都市公園条例の一部改正」及び議案第57

議案13件可決
請願1件不採択

初日には、9月定例会で決算特別委員会に付託し、閉会中に審査が終了した9件の決算認定案について委員長から報告を受け、質疑の後、討論を行いました。討論では、日本共産党京田辺市議会議員団から「一般会計」、「国民健康保険特別会計」、「介護保険特別会計」、「後期高齢者医療特別会計」、「水道事業会計」、「公共下水道事業会計」の6件に、市民とともに歩む女性議員の会から「一般会

令和元年度決算
9件を認定

初日には市長から、任期満了に伴う人権擁護委員の推薦に関する諮問案2件が提案され、大鉢美智子(おおはちみちこ)氏(75)＝三山木七瀬川、及び和泉律子(いずみりつこ)氏(71)＝草内鐘鉦割の2名を再任すること、賛成全員で適任としました。任期は委嘱発令日から3年です。

初日には、その他にも「後期高齢者医療に関する条例の一部改正や、都市公園条例の一部改正」及び議案第57

議案13件可決
請願1件不採択

初日には、その他にも「後期高齢者医療に関する条例の一部改正や、都市公園条例の一部改正」及び議案第57

令和元年度決算
9件を認定

初日には市長から、任期満了に伴う人権擁護委員の推薦に関する諮問案2件が提案され、大鉢美智子(おおはちみちこ)氏(75)＝三山木七瀬川、及び和泉律子(いずみりつこ)氏(71)＝草内鐘鉦割の2名を再任すること、賛成全員で適任としました。任期は委嘱発令日から3年です。

初日には、その他にも「後期高齢者医療に関する条例の一部改正や、都市公園条例の一部改正」及び議案第57

議案13件可決
請願1件不採択

初日には、その他にも「後期高齢者医療に関する条例の一部改正や、都市公園条例の一部改正」及び議案第57

令和元年度決算
9件を認定

初日には市長から、任期満了に伴う人権擁護委員の推薦に関する諮問案2件が提案され、大鉢美智子(おおはちみちこ)氏(75)＝三山木七瀬川、及び和泉律子(いずみりつこ)氏(71)＝草内鐘鉦割の2名を再任すること、賛成全員で適任としました。任期は委嘱発令日から3年です。

初日には、その他にも「後期高齢者医療に関する条例の一部改正や、都市公園条例の一部改正」及び議案第57

議案13件可決
請願1件不採択

初日には、その他にも「後期高齢者医療に関する条例の一部改正や、都市公園条例の一部改正」及び議案第57

令和元年度決算
9件を認定

初日には市長から、任期満了に伴う人権擁護委員の推薦に関する諮問案2件が提案され、大鉢美智子(おおはちみちこ)氏(75)＝三山木七瀬川、及び和泉律子(いずみりつこ)氏(71)＝草内鐘鉦割の2名を再任すること、賛成全員で適任としました。任期は委嘱発令日から3年です。

京田辺市議会

第172号

検索

京田辺市議会
議会中継
右のQRコードから
アクセスできます。

紙面中、新型コロナと表記されたところは、新型コロナウイルス感染症のことを言います。

号「令和2・3・4年度継続施行可燃ごみ広域処理施設敷地粗造成工事請負契約について」に対し日本共産党京田辺市議会議員団及び市民とともに歩む女性議員の会の2会派から反対討論があり採決の結果、賛成多数で可決されました。その他10件の議案については、賛成全員で可決しました。次に、補正予算案2件の採決において、議案第60号「令和2年度一般会計補正予算(第7号)」に対し、市民とともに歩む女性議員の会から反対討論があり、日本共産党京田辺市議会議員団からは賛成討論があり、賛成多数で可決しました。ほか1件は、賛成全員で可決しました。また、請願1件の採決について日本共産党京田辺市議会議員団から「京田辺市の子どもの健康と安全を守り、ゆきとどいた教育を求める請願」に賛成討論があり、賛成少数で不採択となりました。

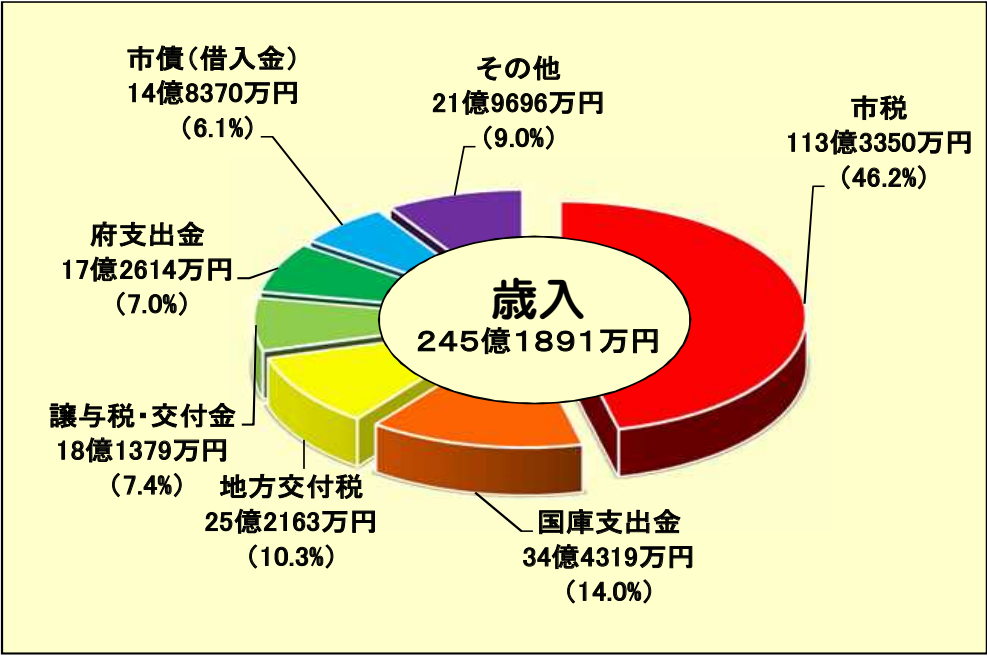
最終日には、議員から意見書案「日本学術会議会員の任命拒否の撤回を求める意見書」が提出され、賛成少数で否決しました。

議員提出意見書案1件否決

議案提出意見書案1件否決

令和元年度「市の家計簿」は

| 歳 入 | | 前年比 |
|---------|--|--------|
| 市 税 | 市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税などの市が徴収した税 | 104.7% |
| 国庫支出金 | 国から市に支出される資金のうち、その用途が特定されているもの | 95.1% |
| 地方交付税 | 所得税・法人税・酒税などの国が徴収した税から財政力に応じて市に配分されるもの | 97.1% |
| 譲与税・交付金 | 消費税・自動車重量税・自動車取得税などの国が徴収した税から市に交付されるもの | 106.7% |
| 府支出金 | 府から市に交付されるもの | 104.3% |
| 市 債 | 市が歳入の不足を補うために発行する債券で、会計年度を超えて債務を返済するもの | 89.6% |
| そ の 他 | 過去の積立基金からの繰入金や、財産収入・使用料及び手数料など | 109.3% |

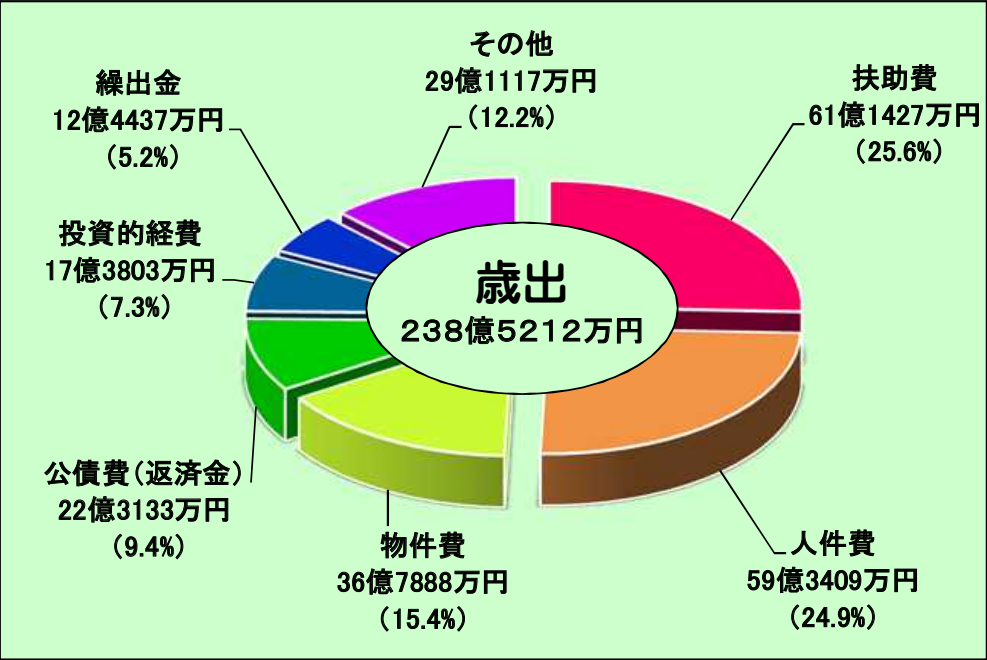


主な予算である『一般会計』の収支内訳

入ったお金

使ったお金

| 歳 出 | | 前年比 |
|-------|--|--------|
| 扶 助 費 | 社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童・高齢者、心身障がい者等を援助するために要する経費 | 104.1% |
| 人 件 費 | 職員給与、地方公務員共済組合等負担金、退職金、委員等報酬、議員報酬手当など | 99.7% |
| 物 件 費 | 賃金、旅費、役務費、委託料等消費的性質の経費 | 105.9% |
| 公 債 費 | 地方債元利償還金及び一時借入金利子の支払いに要する経費(債務の返済金) | 97.6% |
| 投資的経費 | 道路・橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費など | 99.6% |
| 繰 出 金 | 一般会計から各特別会計・地方公営企業会計などに対して支出される負担金など | 95.2% |
| そ の 他 | 公共用施設等の維持に要する経費や、法適用企業に対する負担金、さまざまな団体等への補助金、報償費、寄附金など | 104.7% |



会計別決算収支状況

| 会 計 区 分 | | | 歳 入 | 歳 出 | 差 引 | 繰越財源を除いた 実 質 収 支 |
|---------------------|------------------|-----------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 一 般 会 計 | | | 245 億 1891 万 0503 円 | 238 億 5212 万 6087 円 | 6 億 6678 万 4416 円 | 3 億 5050 万 5016 円 |
| 特 別 会 計 | 松 井 財 産 区 | | 717 万 9433 円 | 709 万 6682 円 | 8 万 2751 円 | 8 万 2751 円 |
| | 国 民 健 康 保 険 | | 63 億 1657 万 6066 円 | 63 億 1191 万 1052 円 | 466 万 5014 円 | 466 万 5014 円 |
| | 休 日 応 急 診 療 所 | | 2307 万 7444 円 | 2284 万 5614 円 | 23 万 1830 円 | 23 万 1830 円 |
| | 介 護 保 険 | 保 険 事 業 勘 定 | 44 億 3545 万 7724 円 | 43 億 5803 万 7777 円 | 7741 万 9947 円 | 7741 万 9947 円 |
| | | サ ー ビ ス 事 業 勘 定 | 3225 万 8774 円 | 2122 万 0835 円 | 1103 万 7939 円 | 1103 万 7939 円 |
| | 後 期 高 齢 者 医 療 | | 9 億 2540 万 6186 円 | 9 億 2457 万 4771 円 | 83 万 1415 円 | 83 万 1415 円 |
| 計 | | | 362 億 5886 万 6130 円 | 354 億 9781 万 2818 円 | 7 億 6105 万 3312 円 | 4 億 4477 万 3912 円 |
| 水 道 事 業 会 計 | | 収益的収支 | 14 億 7126 万 9328 円 | 14 億 6334 万 6988 円 | 792 万 2340 円 | |
| 公 共 下 水 道 事 業 会 計 | | 収益的収支 | 16 億 7354 万 1503 円 | 16 億 7296 万 0354 円 | 58 万 1149 円 | |
| 農 業 集 落 排 水 事 業 会 計 | | 収益的収支 | 8106 万 3016 円 | 8099 万 5045 円 | 6 万 7971 円 | |

決算特別委員会の審査報告

決算特別委員会(青木綱次郎委員長、榎本昂輔副委員長、上田毅、片岡勉、河田美穂、菊川和滋、田原延行、橋本善之、吉高裕佳子の各委員で計9名)は10月14日、19日、21日、23日、30日、11月12日の6日間にかけて委員会を開催し、9月定例会で付託された令和元年度一般会計など9件の決算認定案について審査を行いました。

審査は部局別に行い、10月30日には6会派による総括審査を行った後、決算認定案をすべて認定しました。主な質疑は次のとおりです。

財政運営は？

企業誘致の可能性は？

【財政見通し】

財政平準化の取り組みは。

【財政課長】

今後、大規模プロジェクトが複数進んでいくため、中長期的な財政の見通しを踏まえ、優先度なども考えながら安定した財政運営をしていきたい。

【市は企業誘致を進めようとしているのか。】

【財政課長】

企業の意向もあるが、幅広い観点から誘致をする必要があると考えている。

【都市計画事業費】

総額が10年前と比較して3分の1に減少しているが、今後の見通しは。

【財政課長】

今後、田辺公園の拡張、大住草内線の整備等の事業が控えているため、事業費も増加していくと考える。

区・自治会運営は？

【広報広聴事業】

市民みらいミーティングで区・自治会ごとのブロック分けをしているが、共通している問題は、なり手不足である。市はどのように解決しようとしているのか。

【市民参画課長】

令和元年度から自治振興費に運営強化額、連携推進費を設け、組織の強化を支援した。まちづくり推進協議会を立ち上げ、各区・自治会で利用できるように加入促進チラシを区・自治会と共同で作成している。

【水道事業会計】

近年、府営水の受水量が増加しているが、なぜ府営水の依存度が高くなってきたのか。

【上水道課長】

同志社山手の人口増加や井戸の老朽化、自己水の水量の減少等により、その分を府営水で補っているため。

【不法投棄等監視強化事業】

監視カメラや人感センサー等の監視システムを設置する基準等は。

【環境課長】

過去頻繁に不法投棄が行われた場所等に設置、音声認識の人感センサーについては機能上、山奥の人気がないところに2カ所設置している。

【情報教育推進費】

タブレットが導入されるが、パソコンとタブレットの使い分けはどう考えているのか。

【教育部長】

パソコン教室はプログラミング教育などのパソコンの機能が必要となるもの。タブレット端末は教室に配置するため、普通の授業の中で調べ物や学習に活用するなど、性質を分けて有効活用していく。

【介護保険特別会計】

消費増税の影響で介護保険サービスの利用に影響は出たのか。

【介護保険課長】

低所得者には、保険料の軽減措置を行っていることもあり、消費増税の影響によるサービスの利用控えが起きているということはないと思っている。

ふるさと納税



ふるさと納税を紹介した市ホームページ



ふるさと納税の使い道の紹介

【問】

ふるさと納税について、市税の控除額と納税金額に乖離がある。今後のアイデアはあるのか。

【財政課長】

本市については、市外に流出していく金額が多いと考える。今後は、寄附金収入額を増やすため、例えば充当事業の工夫、返礼品の追加、検討中のクラウドファンディングなどの事業に着目した形で収入を増やしたい。

高齢者の居場所づくり



居場所づくりの一環である健康体操の様子

【問】現在、居場所づくり実施自治会数19とのことだが、増やしていく取り組みは。

【高齢者支援課長】

市内全ての区・自治会で高齢者の居場所づくりを行ってもらうことを目標にしている。民生委員や区の自治会役員等、地域のキーマンとなっていたただけそいうな方に説明を行うことで、区・自治会への働きかけを行っている。

バス路線以外の公共交通は？

【地域公共交通事業】

市内バス路線5路線に負担金を支払い、また公共交通活性化に向けた啓発を行っているというのだが、前年度に比べてどの程度利用者数は増えたのか。

【計画交通課長】

元年度は京阪バスと奈良交通の2つの事業者合計で約11万3000人の方に利用いただいた。対前年比でみると1万2000人の減少。これは、2年2月以降に新型コロナウイルス感染症が拡大し、特に3月は緊急事態宣言による外出自粛要請の影響だとみられる。

【バス交通等検証委員会】

バス交通等検証委員会が解散し、新たな地域公共交通活性化協議会ではどのような取り組みをしたのか。

【計画交通課長】

これまでの

であればいいかなどを検討し、そのとりまとめ結果を基に、基本設計に着手した。

【空家等対策事業】

ソリデール事業に関する説明会とニーズ調査を行ったとのことだが、状況は。

【開発指導課長】

高齢者のソリデール事業の認知度は約3割であったが、6割が事業実施に賛成であった。

また、同志社大学・同志社女子大学の協力で若者のニーズ調査を行った。学生の認知度も低かったが、9割が事業実施に賛成であった。

【田辺公園拡張整備事業】

検討委員会におけるワークショップは何回開催されたのか。また、その内容は。

【緑のまちづくり室長】

ワークショップは4回開催。また、田辺公園をどのようにしたいのかという意見から、4つのエリアに分け、どう配置

が判明したので、2年度は事業のPRを実施、3年度の事業実施に向け取組む。

決算認定にあたって 総括審査

審査を終えての会派別意見



自民一新会

積極的な政策・ 将来投資が重要

令和元年度の決算は、一般会計、特別会計、また公営企業会計とも適切に処理され、一般会計では歳入歳出のバランスがとれ、単年度収支では黒字、主要な財政分析においても健全な状況を保っている。山手東上西野線の遊歩道整備事業、地域子育て支援センターの開設、耐震性防火水槽整備事業といった、市民の健康と生活を守り、防災対策の強化が図れたことは評価する。一方で、他会計補助金等で大きな赤字を補ってんしている公共下水道事業の財政面について、喫緊に対応する必要がある。

また、今後も引き続き、府との連携の強化をはじめ、副市長の任命に向けた取り組みが重要である。

NEXT 京田辺

健康寿命延伸に 更なる推進を

「健康(幸)なまちづくりの推進」をきっかけ、水辺の散策路等健康寿命の延伸に向けた各種施策を組織横断的に取組まれたことや、各自治会単位での高齢者居場所づくりに取組まれたことは高く評価する。一方コロナ禍で顕

在化した新たな行政課題に対し、評価分析のもと、特に行政のデジタル化等の早期対応を強く要望する。また老朽化が進む公共施設の統廃合や新たな計画における施設の複合化も視野に、公共施設マネジメントに取組まれた。将来のまちづくりは市民とともに作り上げることが重要である。より一層、区・自治会との連携を深め、市民参加のまちづくりを展開されたい。

日本共産党 京田辺市議会議員団

新型コロナから 命と暮らし守れ

新型コロナが流行し、人々の生活にかつてない困難がもたらされている時こそ、地方自治体の役割は重要。またコロナ禍だけでなく、令和元年度は消費税増税が強行され景気が悪化し、生活保護の増加や就学援助件数が

増加した。市政全般を見直し、市民の暮らしを守る取り組みをいっそう進めていくべきである。国民健康保険税の引き下げや、下水道料金引き上げの中止、5億円の基金を活用し介護保険料・介護サービス利用料の負担軽減、都市計画税率の引き下げ、粗大ごみ回収有料化の廃止などに取り組むことを求める。

京都南風の会・ 日本維新の会クラブ

市民負担のない 財源確保を

令和2年度の実質収支は黒字となり、財政力指数は0.799とわずかに高いが、経常収支比率は94.3と横ばいの状況。新型コロナの影響が心配。景気動向による市税の収入が減少すれば、数値は悪化し、財政状況は非常に厳しい状況

況である。そんな中、山手東上西野線の整備事業や、幼児保育・教育の無償化への対応、様々な工夫と努力による施策を展開されたことに敬意を表する。今後、中学校給食実現、可燃ごみ広域処理施設の整備、田辺中央北地区の整備や大住草内線の整備など課題が山積。企業誘致等による財源確保を見据え、各部署が上村市長を支え一体となる行財政運営を期待したい。

公明党

コロナ禍でも市 民の安心安全を

コロナ禍でもいつ発生するか分からない災害対策として、流通備蓄が見込めないことを想定し市独自の備蓄品拡充・避難所運営実地訓練等を実施すべき。コロナ禍で深刻となる子どもの貧困や教育の格差をなくす施策を。

幼児教育無償化を受け待機児童対策の強化に加え、公立幼稚園の定員割れ問題には通園バスや給食の導入・習い事の実現など早期の対策をすべき。

女性の目線や意見が特に必要な審議会や協議会等には女性委員登用の拡充をすべき。

新型コロナウイルス対策・中学校給食の早期実現・複合型施設の整備など大きな財政出動が見込まれるため、財政見直しと財源確保策が必要。

市民とともに歩む 女性議員の会

情報公開と丁寧な説明が必要

市長は、令和元年度所信表明演説で本市が持つ強みである環境、文化、産業を融合させて世界に誇れるまちにすると述べられた。地球温暖化対策について市民、大学、企業と連携して取組まれているが、今後は市が率先してま

ずは公共施設への再生可能エネルギーの導入を確実に実現すべきである。より環境配慮の視点で全庁的に公共施設マネジメントを推進していくことが求められる。また、市の重要な会議である経営会議や市政戦略会議、そして新型コロナウイルス対策本部会議について、その実態が市民に分かれない。市民の信頼を得るためにも情報公開や丁寧な説明が必要であり、努力されたい。

常任委員会の審査報告

市議会は、12月11日に建設経済常任委員会、14日に総務常任委員会、そして15日に文教福祉常任委員会を開会し、定例会初日に付託された市長提出の議案13件と市民から提出された請願1件について審査を行いました。

また、補正予算案2件について、それぞれ所管部分の審査を行いました。議案審査、補正予算審査の主な質疑は次のとおりです。文教福祉常任委員会が行った請願審査の内容は、6面に掲載しています。

議案審査

ピックアップ①

有料公園施設の料金改定

【都市公園条例の一部改正】

【賛成全員：可決】

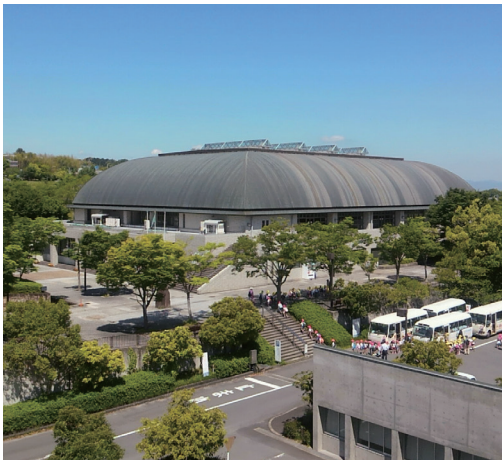
市民に有料公園施設を安全で快適に利用していただくため、現在進めている田辺中央体育館の空調設備整備を始め、老朽化した施設の改修を今後

も計画的に進めるにあたり、利用者負担の適正化を図るべく、有料公園施設の料金改定

を提案するもの。

料金改定にあたり、どのように市民に周知していくのか。また、どのような周知スケジュールか。

【文化・スポーツ振興課長】 広報やSNS、体育協会の体育館だよりなどを通じて、丁寧に説明していきたい。周知開始時期が早すぎて混乱をまね



田辺中央体育館

かないよう、指定管理者と相談しながら、なるべく早い段階で周知していきたい。

障がい者・児の利用は、どうなるのか。

【文化・スポーツ振興課長】

これまでとおり引き続き同じような利用ができるように指定管理者と相談しながら、配慮して進めていきたい。

適正な利用者負担は、必要だと考えるが、その上で他に同じような用途で使用できる文化施設との利用料の整合性は、どうなるのか。

【市民部長】 その点は課題であると考えている。市全体で施設使用のあり方について検討していきたい。

やむを得ない場合 延滞金減免可能に

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

【賛成全員：可決】

地方税法の一部が改正され、地方税法における延滞金の割合に係る規定が見直されたことに伴い、保険料における延滞金の割合に係る規定等を整理すべく所要の改正を行うもの。

やむを得ない理由により延滞金の減免を行っていく場合、基準が必要となると思うが、どのようなものか。

【国保医療課長】 主に災害による損失を受けたとき、生活困窮により公私の補助を受け

ているとき、または被保険者が死亡、病気で生活困窮の状態にあるときを想定している。現在、時効については内規で整備している。

介護保険条例の一部改正

【賛成全員：可決】

地方税法の一部が改正され、地方税法における延滞金の割合に係る規定が見直されたことに伴い、保険料における延滞金の割合に係る規定等を整理すべく所要の改正を行うもの。

延滞金を徴収した事例はあるのか。

【介護保険課長】 延滞金を徴収した実績はない。延滞金がかかるケースであっても保険料本体を支払うことで精一杯で、延滞金は減免しているのが実情である。

防災会議と水防協議会を統合

【防災会議条例の一部改正】

【賛成全員：可決】

京田辺市防災会議と京田辺市水防協議会の統合に伴い、所掌事務の拡充を行うため、所要の改正を行うもの。

防災会議と水防協議会の委員は、どれくらい重複しているのか。

【安心まちづくり室担当課長】

水防協議会委員全員が防災会議の委員を兼ねている。

事務処理も統合するのか。

【安心まちづくり室担当課長】

事務処理について水防に関するところは消防が所管し、防災に関するところは、安心まちづくり室が所管し、防災会議

の中でそれぞれ対応する。

指定管理者は 社協が継続

市立社会福祉センターの指定管理者の指定

【賛成全員：可決】

京田辺市立社会福祉センターの管理について、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づく指定管理者の指定を行うもの。

新型コロナウイルス対策等でボランティアが協力しにくくなり、指定管理者も運営が難しくなると思うが、そのことで協議したことはあるか。

【社会福祉課長】 ボランティアも直接、本人と触れ合うことが難しくなっているが、イベントは例年通りの開催ができたようなので、市としても引き続き協力していきたい。

災害ボランティアセンターとしての機能は果たせているのか。

【社会福祉課長】 防災訓練や防災研修にも積極的に参加していただいているので、継続してもらいたいと考えている。

その他の議案

火災予防条例の一部改正

【賛成全員：可決】

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部が改正されたことに伴い、電気自動車用の急速充電設備に関する規定を整備するため所要の改正を行うもの。

電気自動車用の急速充電設備は市内でどれくらい設置されているのか。

【予防課長】 急速充電設備に関して条例化された時点では届出義務がなかったため、正確な件数はわからないが、インターネット等で調べた結果、急速充電設備として確認がとれたものは、5件であった。

今後の周知に関するスケジュールは。

【予防課長】 販売事業者側は届出が必要であることは理解しているため、販売事業者が届け出るようになることを考える。

地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

【賛成全員：可決】

都市計画法第12条の4第1項により大住工業地区において綴置都市計画の地区計画を変更することに伴い、建築基準法第68条の2第1項の規定に基づき所要の改正を行うもの。

具体的には何がどうかわるのか。

【計画交通課長】 基本的には大住工業地域の拡大であり、拡大するエリアにおいて環境に影響をあたえないように規制を加えるものである。例えば用途の限定、建物の壁面の位置の制限、細かく土地を分割しないように最低敷地面積を定めるなどの内容になっている。

公共下水道使用料徴収条例の一部改正

【賛成全員：可決】

地方公営企業法における経営の基本である独立採算による事業運営が可能となるよう料金体系を見直し、公共下水道使用料を改定するため、所

要の改正を行うもの。

公共下水道使用料が制定されて約35年間、値上げしなかったことのメリットは何か。

【経営管理室担当課長】 下水道の普及に貢献できたことである。

料金改定によるメリットは何か。

【経営管理室担当課長】 基本料金と従量料金をはっきり分けたので、基本料金部分で維持管理に係る経費を安定して徴収できることと従量料金部分で使用した量が使用者にはっきりと認識できるようになったことがメリットである。

消費税導入時など下水道料金を上げなかったことが、平均約1・4倍もの値上げになったのではないのか。

【上下水道部副部長】 下水道の普及を最重要に考え、比較的安価な料金で普及率を上げるために経営努力を行ってきた。しかし、下水道処理に係る必要な費用については、使用される市民のみなまにご負担いただくという考え方を併せ持って料金の改定を提案させていただいた。

令和2・3・4年度継続施行可燃ごみ広域処理施設敷地粗造成工事請負契約について

【賛成多数：可決】

市の議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、総合評価競争入札に付した令和2・3・4年度継続施行可燃ごみ広域処理施設敷地粗造成工事について、請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の

規定により、議会の議決を求めるもの。

コロナ禍における人件費の高騰で入札価格に差が出たのか。

【建設部副部長】 国土交通省・厚生労働省・農林水産省の3省合同で定められた人件費に沿って積算されているので、人件費の影響とは考えにくい。

京都市府町村職員退職手当組合規約の変更

【賛成全員：可決】

京都市府町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体に相楽東部広域連合を加えた組合規約を変更することについて、地方自治法第286条第1項の規定により協議するため、同法第290条の規定により議会の議決を得ようとするもの。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

【賛成全員：可決】

子ども・子育て支援法の改正に伴い、同法を引用する部分について所要の改正を行うもの。

水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

【賛成全員：可決】

地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

道路線の認定

【賛成全員：可決】

従前の宅地開発等により築造されていた自転車及び歩行者専用道路等について、道路法の規定に基づき路線の認定を行うもの。

補正予算 審査



農業振興対策費

茶業振興対策事業で補助するボイラー等の耐用年数は。

農政課長 今回対象のボイラーは15年使用とのことだが、季節による使用頻度の差が激しいので、損傷も早く能力の低下も見られる。

農政課長 年によっても違うが約15名である。

庁舎修繕費

庁舎修繕及び庁舎情報通信ネットワーク環境等整備事業に係る財源は、新型コロナウイルス

ナ対策として国の補助金対象となるのか。

財政課長 まずは一般財源としているが、最終的には国の新型コロナウイルス対策臨時交付金に申請したい。

庁舎修繕工事は、分割発注すること、より多くの業者に仕事を回せると思うかどうか。

管財情報課長 指名競争入札により市内業者を対象に一括して発注する予定である。

庁舎情報通信ネットワークを無線化する予算も計上しているが、無線化することで安全性・安定性に問題は無いのか。

地域生活支援事業費

地域生活支援事業の詳細は。

健康福祉部長 地域生活支援拠点等の対象者把握について令和2年10月から2年間かけて行う事業予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、2年度中にすべて把握できるよう前倒しをするものである。また、国の補助金を充てられることとなったので歳入にも計上している。

保健衛生事務費

保健衛生事務費の詳細は。

健康推進課長 市内施設において新型コロナウイルス感染者が確認された場合、保健所から指定された濃厚接触者でない者にPCR検査を行うことで当該施設の運営を早期に再開させるために安全性を確認するもの。対象者は市内で指定された施設の職員である。

請願審査



請願第1号

京田辺市の子どもたちの健康と安全を守り、ゆきこといた教育を求める請願

賛成少数・不採択

請願項目

①安心・安全な少人数学級（20人程度）をすみやかに実現するように、国・府に働きかけを。

②学校のトイレの洋式化、清掃を業者委託に。

③避難所としても使う学校の体育館の空調化の推進を。

④給食費や教材費を無償にするなど、保護者負担を軽減するため、市独自の財政措置を。

参考人・紹介議員 に対する質疑

コロナ禍でソーシャルディスタンスという意味での少人数学級の要望は理解できるが、その意味での要望か。

参考人 新型コロナ対策とも重なるが、教育としての観点から学力を高めるために少人数学級を要望している。

少人数学級の要望人数を20人程度とされているが、その根拠は。

参考人 より少ない人数の方が良いが、教室の広さなど現実問題から現在の40人学級の半分の20人を目指してほしいとの思いから20人程度と表現した。

洋式トイレに列ができないと聞くが現状は。

参考人 和式トイレの使用方法がわからず、失敗する児童が多く、どうしても洋式にならんでしまうようである。通常社会でも洋式トイレが増えていている現状も踏まえた請願である。

トイレ清掃について外部委託を請願されている理由

参考人 トイレが新型コロナウイルス感染リスクの高い場所であること、3年に一度業者によるトイレ清掃はあるが、通常児童だけのトイレ清掃では限界があるためである。

すべての児童を対象に給食費を無償化すべきことについて何か根拠があるのか。

参考人 給食はたくさん食べる児童も少食の児童も給食費は同額であることと食を保障するという点で、人権の観点から一律に無償化すべきと考える。給食は児童にとって生活の一食を保障する意味もあると思うので独自の施策として支えていただきたい。

給食費の無償化については、保護者の所得に関係なく一律に無償にすべきということか。

参考人 すべての児童の給食費そのものを無償化してほしいということである。

給食費の無償化について紹介議員から参考になる意見はあるか。

紹介議員 一律に無償とすることについて、憲法で保障されている教育を受ける権利と義務教育の無償化を前提に、近年全国的に独自施策として給食費無償化が広がってきている。最近の事例では、兵庫県明石市がある。

給食費の無償化を明石市以外に実施しているところはあるか。

紹介議員 府下の自治体であれば、伊根町、井手町、笠置町、南山城村。平成30年度時点で全国1740自治体のうち小中学校ともに無償化しているのは、76団体。小学校のみは4団体、中学校のみは2団体。

市担当部局 に対する質疑

児童全員の給食費を無償化するとどれくらいの費用になるのか。

学校教育課長 年間で徴収している給食費は約2億円で

給食の重要性と今後の状況は。

学校教育課長 食育も含め非常に重要とは考えるが、徴収している給食費は食材費のみであり、その他の経費はすでに市で負担しているため、財政面からも無償化は難しいと考える。今後、経済的状況の変化があるとしても家庭に向けた一定の配慮はすでにできていると考えている。

トイレの洋式化をどれくらい前倒しで行う予定か。

学校教育課長 基本的には学校長寿命化計画の中で大規模改修として行う予定だが、部分改修が可能な部分については、すでに議決いただいた補正予算の中で行っているところである。

小学校では30人以上の学級が40%あり、中学校ではすべての学級であると参考人から聞いたが、間違いはないか。

教育指導課長 京都式少人数制度を活用して、すべての小学校で少人数学級を採用している。ただ、規模の大きい学校については、対応しきれない学校もある。小学校1年生では35人学級、2年生では40

質疑を終えて委員間討議

請願項目①

教育現場ではコロナ禍でソーシャルディスタンスを保ちながら対応に奮闘されている苦労がよくわかった。その上で少人数学級を働きかけてほしいという要望は伝わった。少人数学級実現の理由としてソーシャルディスタンスの確保と、子ども達への手厚い教育の2つの観点から要望しているが、どちらの要望も人数が少なければ少ない方がよいのは当然だが、物理的・財政的制約の中で市もできることは、やっていくという姿勢である。

市は府に要望していくと、はっきり言っていた。

子ども達にとって和式トイレは博物館で見るような感覚

人学級が学級定数になっているので、全体として約40%は30人を超えている。

やむを得ず基準を満たせていない学級がある場合、その解消に向けて市としてどのような認識か。

教育指導課長 子ども達一人ひとりに丁寧に対応していくという点において、少人数での授業は適していると考えている。定数が国・府から示されているのでそれに基づいて最適化された中で、市としては学級数を各学校で選択してもらうようにしている。今後、定数の拡充や弾力化について府教育委員会に要望していきたい。

だということに驚いた。市も解消に向けて取組んでいることは知っている。

市の姿勢としては、計画的に進めつつも、少しでも前倒しでしっかりとやっていくと言っていた。

請願項目③ 学校体育館の空調化は絶対しないと断言しているわけではなく、財源の問題があるためである。

請願項目④ 就学援助等で困っておられる方にはすでに対応しているし、給食費についても光熱費や人件費など経費の半分程度はすでに、市独自で負担しているの、全員に無償というのは難しいと思う。



市内小学校の給食



上田

毅 議員

(南風・維新)

給食費滞納問題と徴収方法 答 児童手当からの徴収も検討

〔市長〕 道路の要点として試行的に整備。成果を参考に今後、計画的に整備を引き続き検討。

〔教育部長〕 基本設計や実施設計を行うに当たり、土地地

盤高や建物構造を慎重に検討。

〔市長〕 道路の要点として試行的に整備。成果を参考に今後、計画的に整備を引き続き検討。



※一般質問とは、議員個人が行財政状況や今後の方針などを市に問うものです。質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。

※新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、アクリル板設置などを実施し、密を避けるため、半数は別室にて待機、傍聴しています。



都市整備が計画の田辺中央北地区



橋本

善之 議員

(自民・新会)

早期に中学校給食の実現を 答 令和5年度中の完成を目指す

〔市長〕 木津川治水、内水排除対策の観点からも、教育に留まらず治水対策を推進する。

〔教育部長〕 67名の方から165件の意見を参考に緊急時の災害対応にも努める計画内容に追加・修正をして基本計画を策定した。計画は、3中学校同時に早期に実現するため共同調理方式で実施するもの。設置場所が水害ハザードマップの洪水浸水想定区域にあるが、これは最大規模の洪水時の避難体制等の充実強化を促すものであり、施設建設が制限されるものではない。

〔市長〕 まちづくりは行政だけでなく市民や多様な主体と協力し相互補完が重要。自治振興費の連携推進枠を活用し、地域と広域的連携組織を目指す。大学連携はこれまでの成果を踏まえ、連携事業の質を高めていく機関を設置する。

〔市長〕 まちづくりは行政だけでなく市民や多様な主体と協力し相互補完が重要。自治振興費の連携推進枠を活用し、地域と広域的連携組織を目指す。大学連携はこれまでの成果を踏まえ、連携事業の質を高めていく機関を設置する。

用語の解説

新生児聴覚スクリーニング検査
(8面右3段目)

難聴の有無を早期に発見するために、赤ちゃんに行う聴覚検査。痛みやかゆみなどなく、赤ちゃんに負担をかけずに専用のスクリーニング装置で行う検査。

スマホアプリ
(9面右3段目)

スマホはスマートフォン
の略称表現で、アプリはアプリケーション装置で行う検査。

DX
(10面右3段目)

デジタルトランスフォーメーションの略称表現で、「企業などがテクノロジー(I・T)を利用して事業の業績や対象範囲を根底から変化させる」という意味合いで用いられる。

アプリケーションの略称表現。スマホアプリとは、一般的にスマートフォンで使われることを想定して作られたソフトのこと。



榎本

昂輔 議員

(自民・新会)

ふるさと納税の拡充を求む 答 業務の民間委託を検討する



ふるさと納税を活用したクラウドファンディング

〔建設部長〕 山手幹線の第二京阪口交差点の信号制御を通常の方法に戻し、通学路に振り分けられた準幹線道路側の信号機を車両と歩行者を完全に分離する方式へ変更するため、交通管理者と協議している。

〔市長〕 山手幹線の第二京阪口交差点の信号制御を通常の方法に戻し、通学路に振り分けられた準幹線道路側の信号機を車両と歩行者を完全に分離する方式へ変更するため、交通管理者と協議している。

〔総務部長〕 自主財源は、民間活力の活用については十分活用していきたいと考えている。

〔市長〕 山手幹線の第二京阪口交差点の信号制御を通常の方法に戻し、通学路に振り分けられた準幹線道路側の信号機を車両と歩行者を完全に分離する方式へ変更するため、交通管理者と協議している。

新生児聴覚検査を助成せよ

答 令和3年4月から助成実施

向川 弘 議員
(公明党)

新生児聴覚スクリーニング検査機器

問 新生児の難聴を発見し言葉の発達遅れを防止するため、新生児聴覚スクリーニング検査費用を助成すべき。

市長 ご指摘のとおり十分な支援が難しい状況であった。全ての新生児が受検し早期発見と共に保護者への支援も行うよう、令和3年4月からの助成制度の実施に向けて府や医師会と調整を進めている。

問 新生児が誕生した家庭に対し赤ちゃんお祝い金や商品券、育児用品セット等を贈る等の子育て支援の拡充を。

健康福祉部長 新生児が生まれた家庭に絵本をプレゼントする事業を実施し、大変喜んでいただいている。さらなる支援が可能か検討したい。

問 妊婦と子どもに対するインフルエンザ予防接種の公

費助成をすべき。

健康福祉部長 個人の予防を目的とした任意接種であることから、妊婦と子どもの公費負担はしていない。

問 コロナ禍における発熱者を想定した避難所要員による実訓練をすべき。

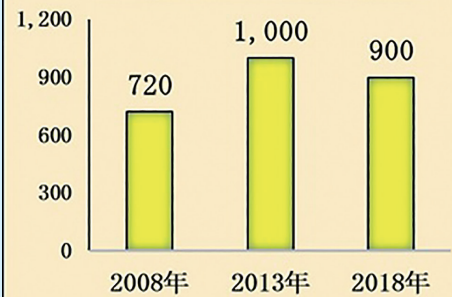
危機管理監 発熱等の症状がある場合は中央公民館へ避難いただく。保健師と机上でのシミュレーションを行っている。避難所要員を含めた実地訓練も今後検討する。

問 高齢者等にスマートフォンを使い方を教えるデジタル活用支援をすべき。

健康福祉部長 オンライン実施も視野に、スマートフォン利用のミニ講座等を各区・自治会の居場所等で実施できるか検討していきたい。

空き家対策の強化について

答 協議会設置と対策条例検討

片岡 勉 議員
(NEXT京田辺)

その他の住宅(賃貸用・売却用・二次的住宅以外の人が住んでいない住宅)数の推移

問 空き家対策の実績と評価、さらなる取り組みの強化策について問う。

建設部長 空き家・空き室は、おおむね民間事業者により流通との認識だが、京都府宅地建物取引業協会との協定に基づき、平成30年4月に本市空き家・空き室バンクを創設、さらなる流通の促進を図った。令和2年8月にシルバー人材センターと空き家の自己管理支援の仕組みを新たに構築、効果を確認できた。部局間連携では、死亡届の提出時に相続登記を促す情報冊子を配布、固定資産税納付書送付時に空き家の適切な管理のチラシ同封の取り組み実施。

今後は、空家等対策協議会を設置し、特定空家について判定基準を定め、特定空家を

認定し、特別措置法に基づく助言、指導、勧告、命令等の措置が可能となる新規条例議案上程を3年度に予定。

問 想定浸水深看板の取り付け(まるとまちごとハザードマップ)の取り組みと水害に備えた取り組みの強化について問う。

危機管理監 26年度に4カ所、28年度地域要望の6地区15カ所への設置を淀川河川事務所が実施。

市長 風水害などの災害対応は、行政だけでは限界があり、地域と連携した自助・共助による取り組みが不可欠。市民協働による地域版防災マップの作成と活用への支援、各地域や団体の要望による出前講座を実施、小学校でも出前講座実施。

南部住民センターの建設を

答 地元要望は受け止めている

岡本 亮一 議員
(共産党)

市内小学校のプール

問 市内中小企業の景気動向と経済状況の認識は。

経済環境部長 厳しい状況にあると認識している。

問 国に対し、持続化給付金及び家賃支援給付金の継続を求めよ。

経済環境部長 全国市長会を通じて要望を行っている。

問 中小企業融資利子補給の上乗せを行い実質無利子にすべき。

経済環境部長 本市独自の利子補給は考えていない。

問 小学校の給食室は、子どもの食育や地産地消、災害時の対応など考慮し、自校調理方式で施設整備すべき。

教育部長 新基準に合致した施設に更新するには、現給食室の2〜3倍の面積が必要であり、その辺りも含めて慎重に判断すべき。

重に考える。また食育や地産地消、災害時の対応については、調理方法に関わらず、しっかりと取り組んでいく。

問 小学校プールの集約化を視野に入るとされているが、児童生徒の学習をどう保証されるのか。

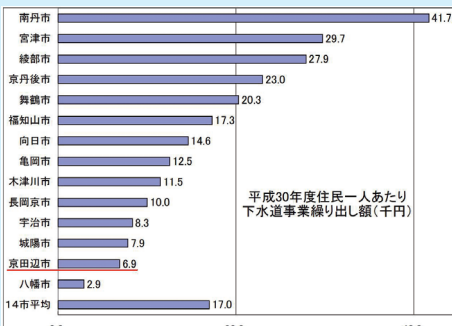
教育部長 水泳指導の意義役割を十分に確保した学習保障ができるように配慮しながら、慎重に検討する。

問 南部住民センターの建設を。

市長 現在、民間施設の活用も視野に入れて、庁内関係部署とも連携をとりながら、必要な機能の検討、適地の調査を進めている。しっかりと地元のみなさんの要望は受け止めている。

下水道料金引き上げ中止を

答 持続可能な観点からお願い

青木 綱次郎 議員
(共産党)

府内14市の下水道事業会計への住民一人あたり繰り出し額を比較したグラフ

問 令和3年7月から下水道料金を1・4倍に引き上げる条例案が提出された。の引き上げ額の見直しは。の引き上げの背景には元年度から一般会計から下水道会計への繰り出し額を大幅に減らしたことがある。このため府内14の一般市でも繰り出し額は2番目に少ない額となった。繰り出し額を以前の水準に戻し、料金引き上げは中止を。

公営企業管理者職務代理者 全体で年間2億5千万円から3億円の料金収入増。一般の5人家族月60立米使用で2300円程度のアップ。

市長 料金改定は今後の下水道事業を持続可能なものにしていく観点から負担をお願いするもの。繰り出し額は他市の状況のそれぞれを勘案し

て判断すべき。トータルとして本市のまちづくりの中で何に注力して予算配分をしていくか考え、一定の負担をお願いするが、本市の大きな課題の取り組みを進めていくことで理解をいただけたらと考えている。

問 小学校給食調理の民間委託の経費は近年、増加傾向にある。見直しすべき。

教育部長 増加の要因は設備のドライ化による適正な人員配置と人件費の高騰によるもの。今後も民間委託を着実に進めていく。

問 JR松井山手駅東側の一般車用ロータリー周辺部にベンチの設置を求める。

建設部長 同ロータリーは水辺の散策路の起終点であり、3年度予算でベンチ設置を計画している。



新田辺東住宅の道路



増富 理津子 議員
(共産党)

介護保険料は負担の限界 答 現在の保険料で維持検討

■ 介護保険制度が導入されて20年。いまや保険料は高齢者にとって負担の限界。これ以上引き上げるべきでなく、引き下げの検討を。

健康福祉部長 高齢者の増加に伴い、介護給付費が増大していくことが見込まれる。長期的な視点も踏まえ、現在の保険料で制度を維持していくよう検討していく。

■ 中学校給食基本計画案に寄せられた意見は、実施方式に関するものが45件、建設候補地に関わるものが66件と多い。市民への説明が不足していたのではないか。今後の取り組みにおいても説明会は開催すべき。市の考えは。

教育部長 初めて公表したので、初めて見られたというのは至極当然。一つ一つの意

見に丁寧に対応させていただいたつもりである。

■ 市長選で、市長は「自校方式が望ましい。でもやるには親子方式じゃないか。」また、「なぜ自校方式がいいのか、それは災害時の避難所になっているからだ」と言われた。考えが変わられたのか。

市長 何を優先させるかというところが重要で、中学校給食を早期に実施することを大前提で進めた。

■ 防賀川緑道ベンチが老朽化している、点検と整備を。

建設部長 山城北土木事務所に連絡し、対応を依頼。

■ 新田辺東住宅地域の道路整備の進捗は。

建設部長 令和3年1月下旬から工事に着手し、年度内の完了を予定している。



イノシシに荒らされた田畑



南部 登志子 議員
(無党派)

市長や議員の報酬削減を 答 議員報酬は議会で議論を

■ 新型コロナウイルスの本市の特徴と対策。④市内業者への影響と対策。⑤補助金削減が先ではなく、まずは市長や議員などの報酬削減を。

健康福祉部長 陽性判明者の46%が家庭内感染。家庭内での感染予防も必要。

経済環境部長 依然として厳しい状況。今後も国・府を参考に必要な施策を講じる。

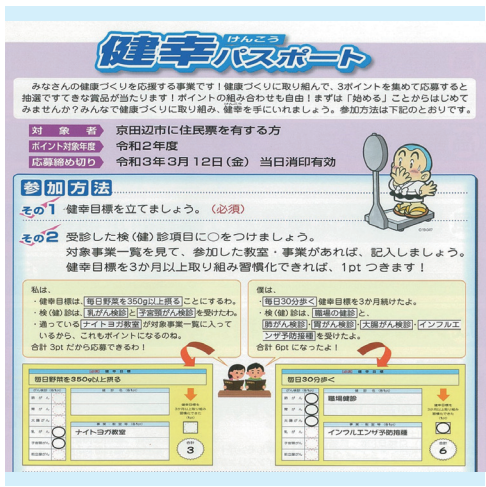
市長 ⑤議員の報酬削減は議会で議論を。市長の給与は今後の情勢で検討する。

■ 普賢寺地域里山の暮らしを守るために。⑥イノシシなど害獣被害の現状と対策。狩猟免許取得・維持に経済的支援を。⑦人口減少と高齢化により耕作放棄地が増加。現状と後継者育成などの対策は。

経済環境部長 農作物被害は令和元年度で百万円余。主に檻による捕獲。イノシシは猟友会が26頭捕獲。電柵等防護柵の設置や補修・増設には補助があり、農家組合を通じて周知。今後は捕獲から処理までの一体的なシステム構築が必要で、広域的取り組みとして府に要望。④本市の耕作放棄地36ヘクタールのうち26ヘクタールが普賢寺地域。農業従事者は2010年397名、2015年279名。長年の課題で地域で議論してもらうことが非常に重要。

■ 介護従事者の確保、障がい者を抱えるご家族への心理的なサポートを。

健康福祉部長 事業所から聞き取り実施。潜在介護職の実態も研究する。地域生活支援拠点整備事業の中で支援。



健康パスポート



長田 和也 議員
(NEXT京田辺)

健康推進にアプリ導入を 答 市全体ではハードルが高い

■ 市の健康推進の中核である健康パスポート事業に、スマホアプリを導入して拡大推進すべきではないか。

健康福祉部長 現在の形で内容を充実させていきたい。

■ 無料パスの日の成果と評価は。

市長 約2500名の方が利用。聞き取り調査では、9割以上の方から前向きな声を頂き、バス利用の理解が深まり、目的通りの成果があったと評価している。

■ バス交通網維持・利便性向上に、バス近接案内表示システムの設置や、子ども向け乗り放題パスポートを導入してはどうか。

建設部長 無料バスの日と併せ積極的に地域公共交通活性化協議会で議論を重ね、取

り組みを計画に反映させたい。

■ 小・中学校へのタブレット導入後の教員や学校間での連携は。

教育部長 現在ICT教育推進ワーキング部会などで研修や研究の計画を進めている。活用事例の交流を通して、各校での円滑な導入に努めたい。

■ 新東沢公園拡張整備のスケジュールは。

建設部長 既に造成工事を完了し、現在公園内の排水路整備を中心に工事を進めている。令和3年度上半期には公園の整備を完了させたい。

■ 市道長尾谷大久線歩道拡幅について。

建設部長 車道と歩道の幅員の見直しに向けた測量・調査・設計を進めている。3年度には工事に着手したい。



近隣市の学校給食センター



吉高 裕佳子 議員
(市民・女性の会)

市民の声を直接聞く場を 答 市の考え方は公表している

■ コロナ不安が続く中で、特に子どもたちが暴力に遭う危険性が高まっている。本市でも暴力防止の予防教育を実施することが必要と考えるが、市の見解は。

教育部長 学校では個性を認め、お互いを大切にするための人権教育を推進している。

■ 時代に合わせて、中学生にもデートDV教育は必要である。早急に取組むべき。

教育部長 道徳や保健体育の授業や、またケータイ安全教室の実施の中で学んでいる。

市民部長 学校教育現場に考えの中心はある。今後、連携を取り進めていかなければならないと認識している。

■ 制服の多くは卒業すると不要となっている。家計応援とごみ減量化、地球温暖化

への市民啓発の観点からも京田辺エコパークかなびでの制服リユースを提案する。

経済環境部長 現在も取り扱っているが少量となっている。各校でデザインも異なることから地域やボランティアで取組むものと認識している。

■ 京田辺中学校給食基本計画案には、165件もの多くの不安と疑問の意見が寄せられたが、その説明が不十分。結果を真摯に受け止めるなら説明会を開き、市民の声を直接聞くべきである。

教育部長 意見に対する市の考え方はホームページで公表しており、説明会は予定していないが、必要な段階に応じて特に関係性の深い関係機関があれば説明する予定はしている。



大住地域の田園風景

後継者が農業できる環境を
答 地域で関係者が対策を

田原 延行 議員
(自民・新会)

(出典)独立行政法人情報処理推進機構
「IT人材白書2020」

DXとICT人材内製状況
答 eラーニングで職員研修

秋月 健輔 議員
(南風・維新)

【総務部長】 持続可能な組織運営を図るため、将来的に様々な高度ICT技術の利用が想定されるが、本市では様々な業務を正確かつ安定して稼働させることを最重要視している。その運用のための知見は職員に必要と考えている。将来必要になるよう高度ICT人材は、LGWANNIA SP等の運用含め外部委託で検討。

【経済環境部長】 地域で課題を共有し解決策を考え持続的な地域農業の未来像を描く。

【市道責谷3～6号線のアスファルトの表面が劣化した道路補修の時期は。】

【建設部長】 補修工事は3年1月下旬から着手する。

【総務部長】 ICTを始めたとする電算管理分野に係る人材育成は、情報管理部署にて電算管理の業務経験・知識を有した職員の人事異動により、ノウハウの共有を図り、職員全体の育成教育を進めている。本市の様々な業務に係る電算システムは、根拠となる法律等に基づき信頼性、安定稼働を最優先にしている。その範囲内で電算システムの見直し・導入に対応している。

【総務部長】 ICT業務に携わる職員へ業務環境への不備が一部に見られるが本市の考えは。

【総務部長】 ICTを始めたとする電算管理分野に係る人材育成は、情報管理部署にて電算管理の業務経験・知識を有した職員の人事異動により、ノウハウの共有を図り、職員全体の育成教育を進めている。本市の様々な業務に係る電算システムは、根拠となる法律等に基づき信頼性、安定稼働を最優先にしている。その範囲内で電算システムの見直し・導入に対応している。

【総務部長】 ICTを始めたとする電算管理分野に係る人材育成は、情報管理部署にて電算管理の業務経験・知識を有した職員の人事異動により、ノウハウの共有を図り、職員全体の育成教育を進めている。本市の様々な業務に係る電算システムは、根拠となる法律等に基づき信頼性、安定稼働を最優先にしている。その範囲内で電算システムの見直し・導入に対応している。

常任委員会の
所管事務調査報告

市議会ホームページで提出された報告書を閲覧できます。

総務常任委員会

防災・減災について

1. 防災広場に関すること

○防災広場：自立的なエネルギーの確保について検討されたい

○応急給食機能：常時には学校給食センター機能として活用し、災害時にも対応できる施設面や運用面を検討されたい

2. 地域防災力の向上に関すること

○住民にマイタイムラインの作成を促し、その必要性を周知徹底した上で、毎年もしくは2年に一度は全地区での避難訓練の実施など取組まれたい

性の多様性に対応した社会について

○多くの市民の理解を深める啓発活動に取組まれたい

○一日も早く「同性パートナーシップ制度」を導入されたい

建設経済常任委員会

農業振興について

1. 農業従事者との意見交換会から見えた提案

○新規農業者への支援の強化 ○販路拡販と地産地消の支援の実施

○販売拠点の設置 ○土壌の安定化と収益性の向上

○官民が一体となった6次産業の推進

2. 管外視察調査を参考にした提案

○ポータルサイトやSNSの活用 ○特産品や果樹販売の拠点作り

○近隣市町村との農業連携

想定浸水深表示
(中部住民センター)

高齢者向けIT講座新設を
答 ミニ講座新設を検討する

次田 典子 議員
(市民・女性の会)

【健康福祉部長】 PCR検査は定期的に実施するものではない。

【総務部長】 サイモグラフィカメラは感染を確認できるものではないので設置しない。

【ハザードマップで市民に洪水や土砂崩れの危険性を啓発する市が、浸水想定区域に給食センターやゴミ焼却場などを設置することは矛盾し、信頼を失う。災害の危険区域

【健康福祉部長】 高齢者向けITミニ講座の開設などを検討する。

【教育部長】 それは、千年に一度の雨を想定したものだ。センターは建物構造などに配慮する。

【危機管理監】 ハザードマップは河川の増水などの情報や危険を住民に理解を促すもの。

【総務部長】 コロナ禍で高齢者や女性の孤立化が進んでいる。高齢者対象のIT講座の新設や女性の相談窓口の充実をするべきだ。

【教育部長】 要項を増刷配架し、市の広報に掲載する。

同志社女子大学生との意見交換会 (学芸学部・メディア創造学科)

市議会は、毎年、市民のみなさまに向けて議会報告会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を踏まえ、令和2年度は報告会に代わる事業として11月12日に同志社女子大学生（学芸学部・メディア創造学科）との意見交換会を行いました。

愛称「キラウちゃん議会」と名付け、京田辺市の観光大使であるキラウちゃんを議長に迎え、模擬議会形式で学生から京田辺市に関するさまざまな意見を伺いました。

質問は、模擬議会にちなんで通告書形式をとり、当日には学生に登壇の上、質問していただきました。質問に対する答弁は市議会議員のうち、各常任委員長が答弁を行った後、総括質疑として関口英里教授に質問いただき、議会運営委員長が答弁しました。

学生からのさまざまな質問に市議会議員は、するどい角度からの質問に対し「驚いた、新鮮な気持ちになった」との感想がありました。今後もこのような、さまざまな形式での報告会も検討しながら、市民の貴重なご意見を伺う活動を続けたいと思います。

(主な質問内容)

- 市の地域活性化への取り組みについて
- ウィズコロナ社会に向けての
オンライン化（高齢者・災害時）
- 農家の後継者不足の対策
- 各駅・周辺の整備について

登壇して質問する様子

写真手前（議員席）には学生が着席
写真奥（執行部席）には、市議会議員が着席



学生のみなさんと記念撮影
(全員が瞬時、マスクを外して撮影)

議会日誌

| 【11月】 | | | | 【12月】 | | | |
|-------------|-------|----------------|-----------------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------|
| 28日 | 7日 | 6日 | 1日 | 24日 | 21日 | 17日 | 15日 |
| 建設経済常任委員協議会 | 議員研修会 | 議会改革特別委員会（22日） | 広報編集特別委員会（8日、20日、27日） | 第4回定例会（開会・議案上程） | 第4回定例会（議案採決・閉会） | 議会改革特別委員会（21日） | 文教福祉常任委員会・協議会 |
| | | | | 第4回定例会（一般質問）（8日、9日） | 議会運営委員会（18日、22日） | 建設経済常任委員会・協議会 | 総務常任委員会・協議会 |
| | | | | 校方京田辺環境施設組合定例会 | 議会全員協議会 | 議会改革特別委員会 | 議決特別委員会 |
| | | | | 同志社女子大学生との意見交換会「キラウちゃん議会」 | 同志社女子大学生との意見交換会 | 総務常任委員協議会 | 議決特別委員会 |
| | | | | 建設経済常任委員協議会（16日） | 文教福祉常任委員協議会（19日） | 同志社女子大学生との意見交換会「キラウちゃん議会」 | 議決特別委員会 |
| | | | | 建設経済常任委員協議会（9日、24日、27日） | 議決特別委員会（9日、24日、27日） | 議決特別委員会（9日、24日、27日） | 議決特別委員会（9日、24日、27日） |

令和2年 議会傍聴者数 (人)

| | | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 閉会中 | 年間合計 | 対前年増減数 |
|----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|
| 本会議 | 定例会 | 8 | 14 | 19 | 13 | - | 54 | -63 |
| | 臨時会 | - | - | - | - | - | 0 | -7 |
| 常任委員会 | 総務 | 0 | 0 | 1 | 0 | - | 1 | 1 |
| | 文教福祉 | 0 | 1 | 2 | 4 | - | 7 | 0 |
| | 建設経済 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | -1 |
| 議会運営委員会 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別委員会(※) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | -1 |
| 合計 | | 8 | 15 | 22 | 17 | 0 | 62 | -71 |

(※) 予算・決算・議会改革の各特別委員会

お詫びと訂正

第171号（11月1日発行）の1面の小見出し「教育委員会委員再任に同意」の記事、及び12面「同志社女子大学生との意見交換会」の記事の記載に誤りがありました。お詫びするとともに、次のとおり訂正いたします。

○1面

再任された教育委員会委員、西村和巳（にしむらたかし）氏の年齢において「(63)」と記載していましたが「(67)」に訂正いたします。

○12面

同志社女子大学生との意見交換会に関する記事において、「総合メディア学部」と記載していましたが「学芸学部・メディア創造学科」に訂正いたします。

傍聴席から



本会議（開会）を傍聴して

・傍聴席から議員一人ひとりの表情を見られるとさらにいいなと思う。

・反対討論の際に、メモを取っている執行部や議員が少なく不思議である。

本会議（一般質問）を傍聴して

・具体性に欠ける答弁が多いと思った。できない理由を先に述べるのではなく「やってみよう」という気持ちを持ってほしい。

文教福祉常任委員会（請願審査）を傍聴して

・請願について、一つひとつの項目を丁寧に質疑されていた。市民の思いや願いが議会に届くようにと思う。議会だよりの情報だけでなく、傍聴することにより、政治や議会がより身近になる気がする。

12月定例会の議決結果

★全議員が賛成して可決等したもの

★議員ごとに賛成と反対が分かれたもの

| 議案番号 | 議案名 |
|--------|--|
| 諮問第3号 | 人権擁護委員の推薦に関し議会の意見を求めることについて |
| 諮問第4号 | 人権擁護委員の推薦に関し議会の意見を求めることについて |
| 認定第2号 | 令和元年度 松井財産区特別会計 歳入歳出決算認定について |
| 認定第4号 | 令和元年度 休日応急診療所特別会計 歳入歳出決算認定について |
| 認定第9号 | 令和元年度 農業集落排水事業会計 決算認定について |
| 議案第43号 | 議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について |
| 議案第44号 | 市の特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について |
| 議案第46号 | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について |
| 議案第47号 | 後期高齢者医療に関する条例の一部改正について |
| 議案第48号 | 介護保険条例の一部改正について |
| 議案第49号 | 地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について |
| 議案第51号 | 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について |
| 議案第52号 | 公営企業管理者の給与に関する条例の一部改正について |
| 議案第54号 | 防災会議条例の一部改正について |
| 議案第55号 | 火災予防条例の一部改正について |
| 議案第56号 | 京都府市町村職員退職手当組合理約の変更について |
| 議案第58号 | 市立社会福祉センターの指定管理者の指定について |
| 議案第59号 | 道路線の認定について |
| 議案第61号 | 令和2年度京田辺市介護保険特別会計補正予算(第1号) |
| 議案第62号 | 令和2年度京田辺市一般会計補正予算(第6号) |

| 議案番号 | 議案名 | 結果 | 自民一新会 | | | | | | NEXT京田辺 | | | | 日本共産党 京田辺市議会 議員団 | | 京都南風の会・日本維新の会クラブ | | 公明党 | | 市民とともに歩む女性議員の会 | | 無会派※ |
|---------|---|-----|-------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------------------------|------|------------------|------|-----|------|----------------|------|-------|
| | | | 松村博司 | 榎本昂輔 | 岡嶋一晃 | 久保典彦 | 田原延行 | 橋本善之 | 片岡勉 | 河本隆志 | 菊川和滋 | 長田和也 | 青木綱次郎 | 岡本亮一 | 増富理津子 | 秋月健輔 | 上田毅 | 河田美穂 | 向川弘 | 次田典子 | 吉高裕佳子 |
| 認定第1号 | 令和元年度 一般会計 歳入歳出決算認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | |
| 認定第3号 | 令和元年度 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 認定第5号 | 令和元年度 介護保険特別会計 歳入歳出決算認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 認定第6号 | 令和元年度 後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 認定第7号 | 令和元年度 水道事業会計 決算認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| 認定第8号 | 令和元年度 公共下水道事業会計 決算認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| 議案第45号 | 市職員の給与に関する条例及び市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| 議案第50号 | 都市公園条例の一部改正について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| 議案第53号 | 公共下水道使用料徴収条例の一部改正について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| 議案第57号 | 令和2・3・4年度継続施行可燃ごみ広域処理施設敷地租造成工事請負契約について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | |
| 議案第60号 | 令和2年度京田辺市一般会計補正予算（第7号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| 請願第1号 | 京田辺市の子どもの健康と安全を守り、ゆきとどいた教育を求める請願 | 不採択 | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | × | |
| 意見書案第7号 | 日本学術会議会員への任命拒否の撤回を求める意見書 | 否決 | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | |

※ 会派に属さない議員を「無会派」と表しています。
※ 賛成の場合「○」、反対の場合「×」で表しています。
※ 議決事件の字句及び数字等の整理について
議案第62号を先議したことに伴い、議案第62号及び第60号に係る条項、字句、数字その他の整理を議決により議長に委任されたため、議長において議案第62号を「令和2年度京田辺市一般会計補正予算(第7号)」から「(第6号)」に、議案第60号を「令和2年度京田辺市一般会計補正予算(第6号)」から「(第7号)」に整理しました。



第18回 あなたと話したい



送迎・配食ボランティアグループ「やまびこ」

「送迎・配食」サービスを行っているグループです。リフトカーやワゴン車を使用し、身体障がい者や高齢者の病院への送迎、介護施設への移送のほか、公共イベントに参加される場合の送迎などの支援を無償でされています。グループ発足25年目を迎え活躍の場が広がる中、今回はメンバーのみなさんにお話を伺いました。

Q. どのような活動をされていますか

- ・社会福祉協議会のリフトカー事業を積極的にサポートするとともに、買物介助や配食活動も行っています。
- ・メンバーは女性5名を含め約20名、平均年齢は70歳代半ばです。
- ・送迎運転者と買物介助者・配食運転者がほぼ半半ずつであり、自分のできる範囲で活動しています。
- ・個人50名余り、20団体弱が無料で利用されています。(利用条件あり)

Q. やりがい・悩み等は

- ・メンバーが高齢のため、存続の危機に悩んでいます。活動を継続させるために実働メンバーに無理を強いることなく、緩やかに重きをおいた運営をしています。「ありがとう」と言ってもらえることが何よりうれしいですし、元気をもらっています。また、実働メンバー同士の交流も活発で結束も強く、市民文化祭などの模擬店参加や懇親会も楽しみで、やりがいとなっています。



Q. 今後どうしていきたいですか

- ・これからも無理を強いることなく緩やかに重きをおいた運営をしていきたい。
- ・女性や若い人にも是非とも参加していただき、活動を継続していきたい。

Q. 市議会に期待することは

- ・新しくメンバーが増えるようにボランティアの魅力が伝わるような情報発信をしてほしいです。また、切実に必要な人に利用してもらえるよう事業活動の啓発・PRとご支援を期待しています。

本会議や委員会を傍聴しませんか

市役所へおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。
本会議は、インターネットでもご覧いただけます。

京田辺市議会 インターネット中継 で検索！

3月定例会の予定

| 日程 | 会議内容 |
|------------------|---------------|
| 2月19日(金) 13時30分～ | 本会議(開会・施政方針等) |
| 3月2日(火) 10時00分～ | 本会議(代表質問) |
| 3月4日(木) 10時00分～ | 本会議(一般質問) |
| 3月5日(金) 10時00分～ | 本会議(一般質問) |
| 3月8日(月) 10時00分～ | 本会議(一般質問) |
| 3月9日(火) 10時00分～ | 総務常任委員会 |
| 3月10日(水) 10時00分～ | 文教福祉常任委員会 |
| 3月11日(木) 10時00分～ | 建設経済常任委員会 |
| 3月12日(金) 10時00分～ | 議会改革特別委員会 |
| 3月15日(月) 10時00分～ | 予算特別委員会 |
| 3月16日(火) 10時00分～ | 予算特別委員会 |
| 3月17日(水) 10時00分～ | 予算特別委員会 |
| 3月19日(金) 10時00分～ | 予算特別委員会 |
| 3月29日(月) 13時30分～ | 本会議(閉会・採決等) |

議会運営委員会

2月12日(金)、17日(水)、3月23日(火)、25日(木)
いずれも13時30分～

- ※ 会議の開催日や開催時間などは、変更する場合があります。
- ※ 常任委員会では、開会後に休憩して現地調査を行う場合があります。

市議会だよりに対するご意見、ご感想
をお寄せください。

(電話)0774-64-1380 (FAX)0774-63-4782
(メール) gikai@city.kyotanabe.lg.jp

広報編集特別委員会
委員長 増富理津子
副委員長 長田和也
委員 秋月健輔
委員 榎本昂輔
委員 向川弘
委員 吉高裕佳子

新年が明けて初めての議会だよりとなります。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
令和2年に設置された議会改革特別委員会では、議会だよりのあり方についても議論されています。暮らしと議会がつながっていることを感じたい。ただため、議会だよりがみなさまとの架け橋になるよう委員一同、より一層の研究と積極的な実践を重ねてまいります。
(吉高)

あとがき